

# もよりもよう

もも21号 2003年 5月 5日 発行  
**株式会社 時田工務店**  
 〒360-0041 埼玉県熊谷市宮町1-3  
 TEL(048)521-0752 FAX(048)525-2027  
 E-mail : momo @tokita.co.jp  
 U R L : http://www.tokita.co.jp

## まちびとネットワーク

### 熊谷ロイヤルホテル すずき

#### 季節茶屋として創業



大正十一年、熊谷堤下に季節茶屋として創業。ということは、今年で創業八十一年となる。本来は、昨年中に新館オープンとなれば、八十周年事業としてちょうどよく、くぎりも良く、めでたかったのだらうが、事情が事情を呼び、さらに事情が重なり、創業八十一年目での新館オープンとなった。別に八十周年を意識しているわけではないので、八十一周年でもうれしいことは、うれしい。これで又、楽しく商売ができる。

できあがった建物は、写真がカラーでないのが残念なくらい（ホームページ上はカラー）品が良く、かわい。たぶん、設計士さんと建物を

代表取締役 **鈴木 政美**

#### 時田工務店との出会い

時田工務店とは、御縁がある。今回取り壊した建物を、三十五年位前に現会長の時田さんに建ててもらった。その後、おつきあいはなかった。その後、三十年満期の火災保険がきれる時、更新の為にきてくれたのが私の中学の時のバレー部の先輩、今は時田工務店の次長さんだった。私自身は時田工務店との接点はなかったのに、これで縁の復活。結果、時田工務店に建ててもらって本当に良かったと思う。工事の間、ついでついでと既存の建物のめんどくさい修理もこまごまとお願ひしたのに、イヤな顔ひとつせず、引き受けてくれた監督さんに感謝。



今回の工事 増築部分

じ場所と同じ商売を続けられるのは、すごいことだと思。私達の代で三代目。家業を継いだ時からの信念、二代目には、成功したからといって心から喜んでくれる人はいない。何か少しでも失敗したらつけれられない。守ろうとしないで、会社をつぶしてもいい。どんどん押し進め。という、誰か有名な二代目経営者のことばをいつも意識しながら、人を喜ばせるのが大好きな専務と共に、みんなに喜ば



裏玄関

#### 熊谷ロイヤルホテル 「すずき」によせて

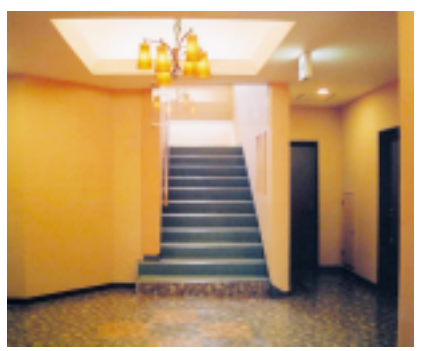
細川設計事務所 細川 末廣

建築は建主の夢や希望を設計者が計画、設計し、施工者によって実現します。私はその過程で特に施工における建主、設計者、施工者、三者のより良い建築を求める意欲と結びつきを大切にしています。

#### IT時代にふさわしい ビジネスホテルに

熊谷ロイヤルホテル「すずき」は戦前から当地で料亭、旅館業を営んでおり、また私の家とも隣組として長くお付き合いしている関係でもあります。二十五年程前、先代によりホテル業に大改装いたしました。このほど時代のニーズに即して「宴会部分を整理しIT時代にふさわしいビジネスホテルに」との要望が三代目、鈴木政美社長よりありました。そして社長と専務の事業にかける情熱を背中を感じながら設計から施工と進みました。

時田工務店は地域の建築文化の担い手として、高い品質管理、特に時田芳文社長を中心に建築に真面目から取り組む姿勢を見ていまして、機会があればぜひ依頼したいと思っております。この事か

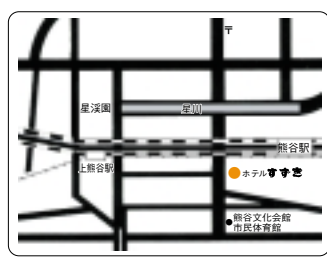


ホール

#### 力強さと暖かさを 意図した造形

設計では新幹線の高架橋が迫るコンクリートジャンガルの冷たい環境に対比する建物として、力強さと暖かさを意図した造形をコンクリート打ち放しのフレームと暖色の化粧壁面で提案いたしました。ホテルの宿泊者はもちろん、ここを通る通勤者も意識いたしました。又、ホテルの個室ではインターネット配線、浴室のバリアフリー等時代に即した設備を設けてあります。

結びに、現場では高橋監督から職人の一人一人にいたるまで、より良い建築を求める高い意欲と蓄積された技術に接しながら設計監理ができたことに心から感謝いたします。そして熊谷ロイヤルホテル「すずき」と時田工務店の益々の発展を祈念いたします。



**熊谷ロイヤルホテル すずき**  
 埼玉県熊谷市宮前町2-51 TEL 048(521)0523  
 提携会社 TEL 048(521)0523  
 http://www.rhotel-suzuki.jp/

#### 四季おりおり

##### 観音山のキスゲに寄せて

熊谷市の観音山北側斜面に植物学上貴重とされている低地型ニッコウキスゲの群落が自生している。82年頃新聞紙上に「ムサシノワスレグサ」の名で報道され、一部心ない人に盗掘され、寺の住職さんを嘆かせた。一日花で鉢植え鑑賞には不向き、園芸対象にはしないで自然の中で鑑賞して行きたい。専門家の間で県の天然記念物指定の価値ありとされ、又91年には日本環境学会長ほかのご判断を仰ぎ、国内では二ヶ所しか確認されていない興味ある植物なので市をあげて大事にして欲しい旨市長宛保護要請のお手紙送頂戴した。その後桜など樹木の繁茂による日照不足などにより花数が少なくなった。そして又、最近復元対策に地元での盛り上がりがあり期待出来る。昨年も下浅間山のムサシノキスゲを守る会と連絡をとり、比較をお願いしたところ、別の種らしいとの指摘。ならば学名確定までは別の愛称で呼ぶことにしたらと益々興味深いこと。魅力的な学習の場、憩いの場として、大切に維持管理されてゆくことを望みたい。

熊谷山草会 会長 山本利一



リフォーム

介護リフォーム 創生部  
吹上町 富田邸

富田様の御家族は六十代の御夫婦とその御両親に御子様の五人で生活されています。

十年ほど前に家を新築されたのですがその当時は家族全員が健康で車椅子の生活など想像もつかなかったとうかがいました。現在は、御両親二人が車椅子を利用して、その介護にあたり良くとお話しを頂きました。

今回、トイレの増築改修の御用命を頂いたきっかけは、半年ほど前に福祉用具の販売リースサービス業を営む、(株)高橋医科器械店様とのネットワークとして寝室の前に昇降装置を取り付ける工事をお手伝いさせて頂いたことによるものです。

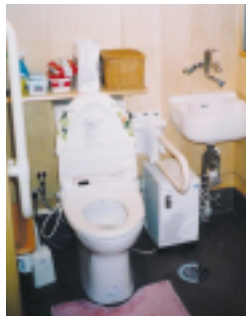
生活の変化に応じた住宅環境の改善

今までのトイレは寝室から廊下を過ぎて家の一番奥まで行かないと使えません。幅の狭い廊下を二度、三度曲って入口に達しても、こんどはトイレの中が小さくて車椅子の機能を十分に生かすことが出来なく、又、排せつの際の汚れ物の処理が大変で足腰の不自由な人には大きな障害となっていました。

新しく増築されたトイレは、寝室の東側の空地を利用して隣設し、トイレの中でも車椅子が廻れることが出来る広さを取り、又、汚れ物の



東側に設けられたトイレとなり昇降装置



機能的で明るい



寝室から直接トイレへ



車椅子で生活されている富田様のお母さん

ホームヘルパーさんも大助かり！

時田工務店様には細かな心使いの中、便利で明るく広々としたトイレを増築していただきありがとうございます。

私自身も足の具合が悪く、両親二人とともに介護を受けている状態なので、両親の介護のほとんどはホームヘルパーさんにしていただいています。今度のトイレの増築で、両親はもちろんですが、特に毎日の様に来てくれているホームヘルパーさんが一番喜んでくれています。

大変具合の良いトイレを造っていただき、大助かりです。大切にさせていただきますので今後よろしくお願ひ致します。(富田様より)

人と住まい…暮らしのヒント

住まいと楽しくつき合おう！ ②

今回は、建物の重要な役割、雨や風から私たちを守ってくれる屋根や外壁等についての疑問を取り上げたいと思います。

Q 築10年のわが家。今までこれといった修繕はしていないのですが、そろそろ何かやるべき？

A 大切な資産でもある家を長持ちさせるポイントは、何といてもこまめな修繕です。傷みはじめた所を発見したら、その都度手入れをしましょう。そうすることによって、20年後、30年後に大きな差が出てきます。築後10年もたつと、様々な傷みや不具合が見られる頃ではないでしょうか。この機会に、一度わが家の総点検をしてみましょう。

Q 外壁の汚れが気になるのですが、塗り替えはいつ頃やれば良いのでしょうか？

A 外壁や屋根は、日光、雨、排気ガス等にさらされているため、劣化してきます。塗装は建物表面の美観的な役割を担うとともに、建物を保護する建物の保護膜のようなものです。剥離やヒビ割れが起きると、雨水等が侵入し、建物を傷めることになるので、定期的な塗り替えが欠かせません。目安としては、築10年がおおよその時期といえます。

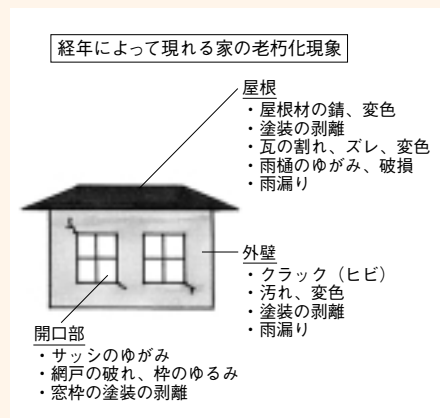
Q 天井にシミを発見！雨漏りでは？と思い屋根に上って見ましたが、それらしい場所が見あたりません。

A 天井にシミがあるからといって、原因が雨漏りによるものとは限りません。また、雨漏りである場合でも、屋根の破損・外壁からのしみ込みなどさまざまなケースが考えられ、素人が判断するのは難しいでしょう。また、屋根に上るのは危険ですし、瓦などの屋根材を傷めてしまう恐れもあります。専門家を呼んで、原因の究明から正しい処置まで、根本的な解決を図るのがぞまいいでしょ。

(アルボックス時田 小島)

建物や住まいに関する質問・疑問はこちらまで引き続きお待ちしております。

e-mail albox@tokita.co.jp



※参考文献「リフォームはじめてのQ&A」

ドクターの知恵袋

自分に合った良い習慣を

野口医院 院長 安井栄一郎

衣食住を考えた時、パルプがはじけ、不況と言いつつも、我々は今、とても恵まれた時代にいると考えられます。最近、マスコミをはじめ、食に関心が向いていますが、生活習慣病をお持ちの方は、もっと関心を寄せて欲しいと思います。マスコミの取り上げた食材は、すぐに店からなくなるという事を耳にします。体に良いものばかりを取り上げて、その良さを証明していますが、これらを全部摂っていったら、逆に生活習慣病を発生させるのではないかと危惧します。医薬品においても、人により、本来の作用(効き目)の出入りもマチマチで、副作用だけが出る方もいる訳です。合併症が発生してから、医療機関に行く方があとを絶えません。予防できる病気は、早く対処しておけば十分間に合います。

健康に良いものを食べていれば、健康を保てるように思えますが、適度な運動をする事(運動量や強度は、年齢、性別、肥満度、基礎疾患、季節を加味して)が必須です。運動の質や量に対しては、医師に相談する事も出来ますが、自分に合った一定のカリキュラムを見つけ、ゆっくりと進め、無理のないスケジュールを続けてゆく事が大切です。死の4重奏といって、高血圧症、高脂血症、糖尿病、肥満を抱えておられる方は、他の余病(心筋梗塞、脳梗塞など)を呼び込みます。まず肥満から解消して行くことですが、食の習慣を真っ先に改め、運動を加えてゆく事です。ただ長生きするのではなく、心身とも健康で、快適な将来を作るのは今の習慣です。

万人に通用する方程式はないのですから、具体的には、飲食において悪い習慣を改め、自分にあった良い習慣を学習して、今のうちに、リズムカルに続けられるよう実行する事です。

熊谷市鎌倉町3  
TEL/FAX 048(521)1112



Community Construction

時田工務店

街建人

地域に暮らし、地球に生きる。原域に暮らす生活者の感性を、何よりも大切にしています。

一つひとつの建物が、豊かな街をつくる。だからこそ建築には、一切の妥協が許されません。

建築という仕事の質を決定するもの。それはあくまで人の質、人と人との関係の質だと考えます。